

一般質問(要旨)



議員 小松崎 敏紀
いばらき自民党
鹿嶋市選出

県立カシマサッカースタジアムの方向性

議員 新スタジアム構想で鹿行地域や本県振興の活性化に期待が高まる中、新スタジアム構想を進めるに当たり、どのような課題を想定しているのか。

知事 試合がない日の誘客や地元ニーズの反映などに課題があるが、新スタジアムの建設やまちづくりを通じて、にぎわいの創出や地域課題の解決に資するプラットフォームが構築され、地域全体の活性化につながるよう鹿島アントラーズや鹿行各市と連携して取り組む。



県立カシマサッカースタジアム

再生資源物の屋外保管に関する条例化の進捗状況

議員 再生資源物の屋外保管に関する条例化について、他自治体で条例整備が進んでおり、本県も迅速に条例整備を進める必要があると考えるが、その進捗状況は。

県民生活環境部長 現状・課題の整理などを行い、他法令との整合性や規制内容の妥当性の検証を進め、骨子案を固めたところである。今後はパブリックコメントの意見を踏まえ、最終的な条例案を取りまとめ、早期の制定に努めていく。

(ほかに、がん検診の受診促進、農業の後継者なども質問)



議員 金子 敏明
無所属
かすみがうら市選出

ポストコロナ時代の医療提供体制のあり方

議員 ポストコロナ時代は、中小病院や診療所などが担う「かかりつけ医機能」が重要だが、医療提供体制の在り方について、所見は。

知事 医師少数県である本県においては、さまざまな規模の医療機関が連携し、一体となった体制の構築が有効と考える。地域の核となる病院やかかりつけ医などに求められる役割を適切に担ってもらえるよう、引き続き、医師の確保や医療機関の役割分担・連携の強化を進めていく。



いばらき消防指令センター内にある指令室の様子

消防力の維持・強化と消防の広域化

議員 自然災害の激甚化・頻発化や新興感染症の発生に備え、消防力の維持・強化と消防の広域化が必要と考えるが、所見は。

防災・危機管理部長 県内5ブロックでの広域化を当面の目標としている。全消防本部を訪問し、消防業務の共同化を促すほか、ゼロ隊運用^{※1}の導入を支援している。市町村や消防本部との対話を重ねながら消防力の維持・強化を図る。

(ほかに、「泳げる」霞ヶ浦に向けた取組、恋瀬川の河川改修の進捗と今後の見通しなども質問)



議員 高安 博明
国民民主党
日立市選出

ベンチャー企業の創出・育成に向けた取組と成果

議員 ベンチャー企業による新たな市場や産業の創出が本県の長期的な経済成長につながると考えているが、これまでの県の取り組みを踏まえ、今後どのように地域経済の活性化につなげていくのか。

知事 起業家などが交流するイベントの開催、支援機関と協力した海外展開、ものづくり企業との製品開発など新産業創出の原動力となるベンチャー企業の挑戦を後押しし、県内産業の持続的発展と地域経済の活性化に取り組んでいく。

看護人材の確保と県内定着に向けた取組

議員 ベッドは空いているが患者を受け入れられないなど、看護職員の不足は大きな課題である。潜在看護師^{※2}の掘り起こしなど看護人材の確保にどう取り組むのか。

保健医療部長 県内5カ所の相談窓口設置などによる潜在看護職員の再就業促進をはじめとして、養成および定着の促進、質の向上の4つの観点から総合的に取り組み、看護人材を確保していく。

(ほかに、教育現場での人材確保などの取組、地球沸騰化の時代における農業の取組なども質問)



椅子使用者が立ち上がり、移動できるモビリティ機器(Qolo株式会社提供)



議員 秋元 勇人
いばらき自民党
結城市選出

収益性の高い農業の実現に向けての取組

議員 農業従事者が減少する中、収益性の高い農業の推進に向けて、今後どのように取り組むのか。

知事 需要に応じた品目への転換やブランド化による高付加価値化を進めるとともに、価格が高止まりする化学肥料に依存しない有機農業を力強く推進していく。農薬用ドローンなどを使用したスマート農業については、費用対効果に基づき導入支援のほか、農地の集積・集約や大区画化など、導入に向けた事業環境を整備していく。

鬼怒川・田川合流部の水門設置に合わせた田川無堤防地域の築堤

議員 国の水門工事の完成に合わせて、田川の築堤工事を進めてもらいたい。現状と今後の進め方は。

土木部長 水門工事完成後に、速やかに田川の改修が終えられるよう、残る用地取得や工事を進めていく。併せて、水位計と監視カメラにより、河川情報をリアルタイムで住民に提供し、円滑な避難を促すなど、ハード・ソフト両面から水害の防止・軽減を図っていく。

(ほかに、地域の産業に直結する高校教育、伝統工芸品産業の振興と技法の継承なども質問)



農業用ドローンによる播種作業の様子

「県有施設・県出資団体等調査特別委員会」を設置、開催しました

人口減少社会における県有施設の今後の方向性や売却などの処分の妥当性、県出資団体などの事業の在り方、経営改善方策などについて、重点的に調査・検討を行う「県有施設・県出資団体等調査特別委員会」を、7月31日の臨時会において設置しました。構成する委員15名は次のとおりです。

これまで、8月2日に第1回委員会を開催し、調査方針および活動計画の決定、県執行部からの県有施設・県出資団体などの全体概要についての説明聴取などを行ったほか、8月30日の第2回委員会、9月13日の現地調査、9月25日の第3回委員会においては、重点的に議論することとした個別の県有施設・県出資団体などの現状、課題、対応方針について、県執行部からの説明聴取、質疑などを行いました。



中央に田山東湖委員長、その右隣に星田弘司副委員長、ほか13名の調査特別委員会委員

委員長	田山 東湖	委員	小松崎 敏紀
副委員長	星田 弘司		小泉 周司
委員	葉梨 衛		村本 修司
	飯塚 秋男		二川 英俊
	森田 悦男		中山 一生
	下路 健次郎		江尻 加那
	豊田 茂		長田 麻美
	村田 康成		

議会人事

◆委員会人事

8月1日付で田山東湖議員が、誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会委員を辞任されたことに伴い、同日付で細谷典幸議員が同委員会の委員に選任されました。

◆議員辞職など

8月27日付で沼田和利議員(牛久市選挙区)が辞職されました。これに伴い、同日付で坂本隆司議員が誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会委員に選任され、8月31日付で瀬谷幸伸議員が防災環境産業委員会の副委員長に指名されました。

※1【ゼロ隊運用】…119番通報時に管轄の消防本部に出動可能な車両がない場合、指令センターが近隣の消防本部の車両に出動指令を行うもの。
※2【潜在看護師】…看護職員の免許保持者であるものの、現在看護師などとして就業していない人のこと。